

日光ケミカルズは業務ごとに設立された7社からなるニッコールグループの中核として、化粧品、医薬品、食品分野などへ原料の開発・製造・販売から製剤開発、安全性・有用性評価まで、お客様の製品化をワンストップでサポートしています。



原料の外観



開放研究室の風景



有用性評価の風景

得意な技術・製品

- 化粧品、医薬品、食品向けの原料提供：様々な種類の界面活性剤や油剤、ビタミンC誘導体などの活性成分を提供しています。シンガポール工場では、周辺地域の豊富なパーム油やヤシ油などを活用して、品質の高い界面活性剤を製造し安定供給しています。また、ハラル・コーシャ認証の界面活性剤や油剤の提供もしています。
- 環境に配慮した原料開発：再生可能な植物資源を利用することで環境に負荷を与えることなく、持続可能な原料の開発に力を入れています。例えば、再生可能な植物であるサトウキビを発酵させて製造した油剤（スクワラン）を Amyris 社(米)と共同開発し、安定供給しています。

主要な技術・製品

- 開放研究室：1976年に開設した「開放研究室」は、お客様用の研究室。化粧品・外用剤・食品開発の製剤化でお困りのお客様に対して専門の研究者とディスカッションしながら試作・評価・考察を行い、製剤を改良することができます。また、乳化の基礎から応用まで様々なレベルにあわせたコースの研修も受講できます。
- 安全性・有用性評価：グループ会社のニコダームリサーチでは、最先端の皮膚科学に基づいて各種試験を受託しています。化粧品・医薬品の原料・最終製品の評価をはじめ、皮膚に対する食品の有用性を、細胞レベルからヒトを用いた評価まで幅広く実施し、機能性表示食品制度にも対応可能です。最近では、ヒト組織を用いた *ex vivo* 評価ができるようになりました。

■生産拠点、研究体制：生産拠点：宇都宮、那須、シンガポール、研究施設：板橋、宇都宮、那須、シンガポール、フランス

■主要設備：低温から高温まで対応可能な各種設備あり、粉体、固体、液体の形状で製造可能な各種設備あり

■得意な顧客、市場分野：国内外の化粧品、医薬品、食品、一般工業メーカー

■主要取引先(企業名)、顧客構成：国内のほとんどの化粧品メーカーと外用剤メーカー、海外の化粧品メーカー、国内の食品、一般工業メーカー

■今後挑戦したい産業分野：外用剤(海外)、食品製剤、ハラル関連製品向けの原料提供

▶取得資格、認証(ISO等)：EFCI GMP、ハラル、ISO9002、14001など

▶海外展開事例、海外拠点：自社営業拠点：中国、シンガポール、自社工場：シンガポール、世界各国に販売網あり

▶公的支援利用状況(直近3～5年以内)：ニッチトップ知財戦略導入支援事業、外国商標出願費用助成事業

ニッコウケミカルズ カブシキガイシャ

日光ケミカルズ 株式会社

- 資本金：12,000万円
- 従業員数：100人
- 設立年度：1946年
- 連絡窓口(名前)：佐藤智陽
- 所属団体：日本化粧品工業連合会、界面活性剤工業会、日本医薬品添加剤協会、食品添加物協会、その他多数

所在地：〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-8

電話：0120-037-139

FAX：03-3662-0388

<Eメール>

adv@nikkol.co.jp

<ホームページ>

https://www.nikkol.co.jp